

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	和泉ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園は開園以来、外国人講師が週2日来園し、英語で子どもたちと接してきました。レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、園児に寄り添ってきました。このように当園では、英語が園児にとって身近な興味となっていることから英語のみならず、普段話している日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。

・英語講師が名前を呼び、「アイムヒアー」と返事をしてネームタグをもらう場面では、自分の名前を呼ばれて元気に返事をしています。



<テーマの設定理由>

「どうしてジュネラ先生は日本語しゃべれないの？」という子どもたちから発せられた疑問に対して保育者からの問いかけを問いとして設定しました。幼児：「私たちが話している言葉は、他の人たちも使っていると思う？」「私たちの言葉以外で、聞いたことがある言葉ってどんなもの？」乳児：日本語と英語の違いはおそらく意識していないが、どちらの言葉に対しても反応が異なるのか？

2. 活動スケジュール

【問いかけ】 幼児クラスでは、保育者が言葉に関する問いかけをしました。

「私たちが話しているのは、何という言葉か知っている？」

「この言葉は、誰でも話していると思う？」

「私たちが使っている言葉以外に、聞いたことのある言葉はある？」

子どもたちは、「ジュネラ先生は英語しか話せないよ。日本語は話せないんだよ。」と話し、日本語と英語という異なる言語の存在を理解している様子でした。

【流れ】 英語講師の来園日には、英語の絵本の読み聞かせを行い、保育者も子どもたちと一緒に参加します。また、自由遊びの時間には、保育者が日本語の絵本を読み聞かせる際、英語講師も子どもたちと共に参加します。

このように、子どもも大人も一緒に日本語と英語を共有しながら関わります。発話が難しい乳児クラスでも、日本語や英語の音を聞くことで、言葉に親しみ、自然と共有する機会をつくります。

【探究活動の実践と記録】 英語活動では保育者が記録を行い、日本語活動では保育者に加えて英語講師も記録を担当しました。特に、子どもが英語を話す際の言葉や音の聞き分けに注目し、記録しました。

* 読み聞かせ：乳児クラス、幼児クラス

* 歌：乳児クラス、幼児クラス

* 手遊び歌：乳児クラス、幼児クラス

【振り返りや共有】 毎月月末に英語講師と職員がブリーフィングを行い、探究活動の共有をしながら、次月の問いを考え、環境設定や探究活動のスケジュールについて話し合います。また、保育者同士は職員会議を通じて、振り返りや情報共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】 英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

* 同じ作者の日本語と英語の絵本：

読み聞かせ：乳児クラス「はらぺこあおむし」と"Hungry Caterpillar"

幼児クラス「月ようびはなにたべる」と"Today's Monday",

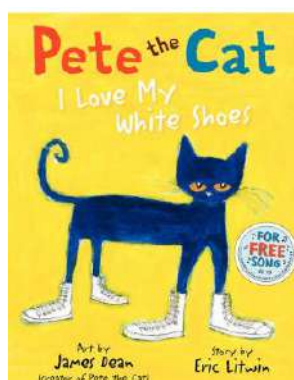
「ねこのピート」と"Pete the Cat: I Love My White Shoes"

* 同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン

乳児クラス、幼児クラス「グーチョキパーでなにつくろう」と "Rock, scissors, paper play"

* 同じメロディの日本語の歌と英語の歌：

乳児クラス、幼児クラス「きらきらぼし」と"Twinkle twinkle little star"



4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①英語コアタイム、7月のテーマ動物の世界：animals & insects

* 幼児クラス：英語レッスンで虫の名前や動物の名前を英語講師から学びました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・ 虫の図鑑を見たり散歩途中で虫を見つけたりと、虫に興味をもっている子が多かった。

つぶやき「ちょうちょがいた！」

保育者 「本当だね！ちょうちょは英語で何て言うんだっけ？」

つぶやき「バタフライだよ！（と言ってジェスチャーをする）」

「この虫は何て言うんだろう？」

保育者 「何ていう名前かな？英語の先生に聞いてみよう！」

・ 英語で習ったことを日々の生活の中でも思い出し、遊びに取り入れたり新しく知ろうとしたりする子がいた。



5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】

・ 散歩中に見かける虫という条件が同じでも子ども達の興味があることの方が身につきやすく、さらに知識を深めようとする姿が見られたように感じた。

・ 保育者が積極的に英語講師とやりとりをすることで、子ども達も安心してやり取りを楽しむことができている。楽しい雰囲気作りが大切だということを改めて感じた。

【次回への問い】子どもたちの興味ある虫の絵本を日本語と英語で読むことで子どもたちの反応がどのように違うのだろうか？

4 -②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせ

* 幼児クラス：英語講師が"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語講師「（果物のイラストを指さす）」

つぶやき「ストロベリー！」

つぶやき「簡単だからわかるよ！」



4 -②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

* 幼児クラス：クラス担任が「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育者 「同じ絵本がお部屋にもあるね。違うところがあるか見てみようか！」

保育者 「月曜日は英語で？」

つぶやき「Monday！」

保育者 「いちごは英語で？」

つぶやき「ストロベリー！」



【英語絵本と日本語絵本の読み聞かせ後子ども感想】

つぶやき「英語と一緒にだね」

「英語と日本語が違った」

「でもどっちもわかった」

「2個目（日本語）の方がわかりやすかった」

保育者 「なんでかな？」

つぶやき「だって日本人だから」

保育者 「よく気が付いたね。でもみんなは英語も先生に教えてもらっているから英語もお話しできるんだよ。他にも沢山言葉があるから見つけてみようね！」

*乳児クラス：英語講師が"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語講師「（いちごのイラストを指さす）」

つぶやき「いちご！」

保育者「いちごは英語でなんていうんだっけ？」

つぶやき「わからない」「ストロベリー！」

英語講師「（蝶々のページをめくる前に、What is the next one?) Spider?）」

つぶやき「ちがう！」「バタフライ！」

- ・歌ではなく読み聞かせの為、歌わずに見ている。
- ・「おつきさまだ！」「さなぎ！」等、イラストを見て日本語で言う。
- ・「アッポー！」「オレンジ！」等、イラストを見て知っている英語を話す児もいる。
- ・飽きてしまう児もいる。



4-②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

*乳児クラス：保育者が「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・日本語用の絵本、歌を行なう際は、知っているフレーズを口ずさむ姿がある。
- ・りんごを見て「りんご！」と言う児や「アップー！」と言う児がいる。
- ・あおむしがお腹が痛くなる場面で「たべすぎちゃったね」と言う。
- ・あおむしが大きくなる場面で、腕を使って大きいとジェスチャーで表す。
- ・さなぎの場面で眠る真似をする。

【英語絵本と日本語絵本の読み聞かせ後子ども感想】

保育者「先生と見た絵本と、講師と見た絵本、同じだった？違った？」

つぶやき「同じだった！」「ジュネラ先生は英語だった！」



5-②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】・「はらぺこあおむし」は読み慣れた絵本ではあるが、日本語で読んでいる時は歌に合わせて果物を一緒に言っているが英語では英語講師の問いかけの後に答えていたので、同じ内容、同じ歌でも反応が違うことがわかった。

【次回への問い】子どもたちが虫に興味あることからはらぺこあおむしを取り上げたが、はらぺこあおむしの中の食べ物にも興味が見られたので、「月ようびはなに食べる」の日本語と英語の絵本を読み聞かせることで、やはり子どもの反応は違うのだろうか？

4 -③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Today is Monday(げつようびはなにたべる)"英語絵本の読み聞かせ

* 幼児クラス：英語講師が"Today is Monday"英語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語講師「Today is ?」

つぶやき「Monday !」

「ゾープって何？」

「チキンはわかる！」

「スパゲッティ食べたことある！」

- ・ 歌を歌いながら読んだことで子ども達も興味をもって絵本を見ることができた。
- ・ 月のカリキュラムで食べ物の英単語に触れているので、日本語で伝えなくても子ども達から自然とその単語が聞かれた。
- ・ 園にある日本語の「月曜日はなにたべる？」を読み聞かせの後に手に取って読む子がいる。
- ・ 英語講師が改めて英語での食べ物の名前を絵本を見ながら教えてくれたので、楽しみながら違いに気づくことができた。



4 -③. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせ

* 幼児クラス：クラス担任が「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・読み聞かせの前に給食室の外から今日の給食を見て食材クイズをする。その際に「英語では？」と問いかけると、「キャロット！」と答える子がいる。
- ・保育室に戻り「月曜日はなにを食べる？」の絵本を読み聞かせする。

保育者 「今日は月曜日、月曜日はなにを食べる？」

つぶやき「いんげんまめ！（さやいんげん）」

・曜日が進んでいくと食べ物が増えていくのでクイズのように楽しんで見ている。

保育者 「さやいんげんは英語で？」

つぶやき「わかんない」

英語講師"string beans"



- ・「前に英語の絵本で見た！」という子がいる。
- ・英語で見た時と何が違った？と問いかけると「英語と日本語」と答えていた。
- ・歌を歌いながら読み聞かせをすると、口ずさむ子がいたり歌いながら友達と顔を見合わせて楽しんだりしていた。
- ・食べ物が沢山出てきて前のページで出てきたものを思い出すような内容になっているので、クイズのようになりより集中して絵本を見ていた。
- ・英語で答えることが難しくても、英語レッスンでやっている単語ジェスチャーをすると答えることができた。

5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】・英語のレッスン時に使用するフラッシュカードで食べ物の単語を覚えていたので、給食の際にも英語で食材を言っていることが多かった。覚えたことを披露することが嬉しいようで、英語がある日以外にも言っていた。「どうぞ」と言ったら「ありがとう」、「ヒアユーアー」と言ったら「センキュー」のように自然に使い分けができるようになっていたと感じた。

・英語での表現がわからなくても単語ジェスチャーを見ることで思い出すことができ、レッスンの中で体を動かしながらフラッシュカードを覚える大切さや子ども達の覚えやすさの違いを感じた。

4-④. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>④「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

* 幼児クラス：保育者が「ぐーちょきぱーでなにつくろう」を日本語で手遊びしながら歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・クリスマスにちなんだものを両手で表現した。

つぶやき「ちょきとちょきでレインディア

（となかい）だね」

保育者 「雪だるまは英語だとなんだろうね？」

つぶやき「わからないから先生（英語講師）

に聞いてみよう！」



4-④. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

* 幼児クラス：英語講師が"Rock scissors paper finger play"英語で手遊び歌を歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・日本語で表現したものを英語で同じように行った。

英語講師「（両手をグーにする）」

つぶやき「雪だるまだ！なんだろう？」

保育者 「なんだろうね！聞いてみよう！」

英語講師「Snowman」

つぶやき「スノーマンだ！」



・英語で触れている単語を日本語でやっている時から英語で発音する子がいる。

・わからないものは英語講師に聞いてみようとする姿が見られる。

4-④. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

*乳児クラス：英語講師が"Rock scissors paper finger play"英語で手遊び歌を歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・歌わずに講師の歌を聞きながら手の振りを見ている。
- 4～5回ほど繰り返していると、なんとなく口ずさみ始める児がいる。
- ・手の振り付けを見て真似る。
- ・講師が両手でパーを出すと「バタフライ！」と答える児がいる。



4-④. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>④「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

*乳児クラス：保育者が「ぐーちょきぱーでなにつくろう」を日本語で手遊びしながら歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・日頃から親しんでいる歌の為、保育者と一緒に歌う。
- ・手の振り付けを見て真似る。
- ・保育者が両手でパーを出すと「ちょうちょ！」「ミッキー！」と答える児がいる。

英語の際に「バタフライ」と答えた児は、日本語の時も「バタフライ」と答えた。

【英語と日本語の手遊び後子ども感想】

保育者「どっちが簡単だった？」

つぶやき「日本語！」「英語！英語のお歌好きだな～」



5-④. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】クリスマスというなじみのあるものを選んだこともあり、積極的に手での表現を考えているように感じた。

・英語講師が英語を話していることに気づき、英語のことは英語講師に聞いてみようとする姿も見られていた。

・当園では0歳児から定期的に英語クラスを展開しているが、乳児であっても発話が可能な子どもは日本語と英語の違いは理解し、それぞれ好きな言葉があるようだ。

【次回への問い】乳児に対して"Twinkle twinkle little star"を日本語と英語で歌うことで子どもたちはどのように反応するのだろうか？⇒活動内容⑤

幼児に対して、生活発表会で「ねこのピート」の劇を発表した、1月の英語の絵本が「ねこのピート」の英語の絵本なので、子どもたちが自分たちが行った劇とどのように関連付け、興味を持つだろうか？⇒活動内容⑥

4-⑤. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>⑤"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

*乳児クラス：英語講師が"Twinkle twinkle little star"を英語で歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・英語の歌に馴染みがない為、口ずさむ姿は少ない。

→2～3回同じフレーズを聞くと「twinkle twinkle…star」の部分のみ歌う児が出てくる。

・リズムにのり、手の振り付けを真似る。

・興味を持たず、何もしない児もいる。



4-④. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>④「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

*乳児クラス：保育者が「きらきらぼし」日本語で歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「きらきら光る お空の星よ」の部分は自信を持って歌う児が多い。
- ・英語でやった手の振り付けを思い出しながら、両手を振ってキラキラさせる児がいる。

【英語と日本語できらきら星を歌った子どもの感想】

保育者「英語と日本語、どっちが好き？」

つぶやき「英語！」「日本語！」「どっちも好き！」

保育者「どっちが簡単だった？」

つぶやき「日本語！」

- ・日本語と答える児がほとんどだった。

保育者「スターは日本語で何て言うんだっけ？」

つぶやき「星！」「わからない」

保育者「星は英語で何て言うんだっけ？」

つぶやき「??？」「スター？」



5-⑤. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】

・今回の英語歌を取り入れたことで、知らない異国の言葉でも、同じ言葉を繰り返しジェスチャーや耳にすることで、子どもが知っている日本語と同じ言葉の意味であることが、分かってくるようであると感じた。

また、リズムがあることで、乳児の興味を示さなかった子どもも、リズムに反応することで、導入のきっかけになったように思われる。

【次回への問い】

『きらきら星』以外でも、耳に親しんでいる歌やリズムでは、関心が広がるのだろうか？

リズム以外にも、乳児の簡単な身の周りの日常生活の名称等だとどうなのか？

イメージしやすく、より多くの子どもが異国の言葉の興味を示すのであろうか？

4-⑥. 探究活動の実践（日本語と英語）

<活動の内容>⑥発表会で劇発表した「ねこのピート」の絵本を日本語と英語で読む。

* 幼児クラス：クラス担任が日本語で「ねこのピート」を読み、その後英語講師が"Pete the Cat: I Love My White Shoes"を英語で読みました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（日本語）

・歌を歌う場面では、歌を口ずさんだり歌に合わせて横に揺れたりして自分なりの楽しみ方で絵本を見ていた。

（英語）

・英語の表紙を見て「ねこのピートだ！」と反応を見せていた。劇で演じた演目のシリーズの絵本だったので、子ども達は内容の違いを感じながら絵本を見ていた。

つぶやき 「だんだん濃い色に変わってるね」

保育者 「なんで濃い色に変わっているかわかる？」

つぶやき 「薄い色からならないと色が混ざっちゃうから！」

保育者 「本当だね！良いことに気がついたね！」



5-⑥. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】絵本は内容が難しいと興味が持ちづらいということで発表会で演じた「ねこのピート」の絵本を選んでみた。表紙を見て「ピートだ！」と反応があり、簡単な質問に答えながら最後まで集中して絵本を見ていた。慣れ親しんだ内容を取り入れることが大切だと感じた。

【次回への問い】・海外旅行に行った友達と保育者とその国の言葉について話をしていると、それを聞いていた子ども興味をもって会話に参加してきた。その際に、

保育者 「その国ではどんな言葉を話していたの？」

つぶやき 「忘れちゃった！」

保育者 「じゃあ調べてみようか！（いくつか単語を話す）」

つぶやき 「それ言ってた！」 「〇〇は〇〇語じゃん！」

と、日本語とも英語とも違う言葉があることに気がついていた。

・なじみのある題材ということで、子ども達が興味をもっている動物や生き物について日本語と英語だけではなく、英語講師の出身であるフィリピンのことば（タガログ語）も図鑑を見ながら触れる時間を作った。

つぶやき 「聞いたことない！難しそう」

保育者 「初めて聞いたね、世界には他にもたくさんの言葉があるから探してみようね」

と、しめくり後日犬や猫、うさぎなどの様々な国の言葉をクラスに掲示すると掲示の前に集まって言ってみようとする姿が見られていた。

*このようなやり取りから、日本語や英語だけではないことばにも興味を持ったかもしれない。英語講師は週2回来園し終日園にいるが、年度で担当講師が変わる。他の国籍の講師が担当になった場合は、子ども達はどんな反応をするだろうか？